

**CASBEE-建築(新築)2014年版**  
**(仮称)ダイレックス境港店**

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.0)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.7</b>
<b>Q1 室内環境</b>								<b>2.6</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.6</b>	0.15					<b>2.6</b>
1.1 騒音		3.0	0.40					
1.2 遮音		3.0	0.40					
1 開口部遮音性能		3.0	1.00					
2 界壁遮音性能		3.0	-					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-					
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-					
1.3 吸音		1.0	0.20					
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.0</b>	0.35					<b>2.0</b>
2.1 室温制御		3.0	0.50					
1 室温		3.0	0.50					
2 外皮性能		1.0	0.17					
3 ゾーン別制御性	空調ゾーニングをした。またゾーン別に冷房・暖房を選択可能とした。	4.0	0.33					
2.2 湿度制御		1.0	0.20					
2.3 空調方式		1.0	0.30					
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.0</b>	0.25					<b>2.0</b>
3.1 昼光利用		3.0	0.50					
1 昼光率		3.0	-					
2 方位別開口		3.0	-					
3 昼光利用設備		3.0	1.00					
3.2 グレア対策		3.0	-					
1 昼光制御		3.0	-					
3.3 照度		3.0	-					
3.4 照明制御		1.0	0.50					
<b>4 空気質環境</b>		<b>4.1</b>	0.25					<b>4.1</b>
4.1 発生源対策		5.0	0.50					
1 化学汚染物質	建築材料については、ほぼ全面的にF☆☆☆☆を採用した。	5.0	1.00					
2 揮発性有機化合物		3.0	-					
4.2 換気		2.0	0.30					
1 換気量		3.0	0.50					
2 自然換気性能		3.0	-					
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.50					
4.3 運用管理		5.0	0.20					
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-					
2 喫煙の制御	建物全体は禁煙とし、外部に喫煙コーナーを設けるようにした。	5.0	1.00					
<b>Q2 サービス性能</b>								<b>3.3</b>
<b>1 機能性</b>		<b>3.7</b>	0.40					<b>3.7</b>
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.40					
1 広さ・収納性		3.0	-					
2 高度情報通信設備対応		3.0	-					
3 バリアフリー計画	建築物移動等円滑化誘導基準を望ましいレベルとした。	4.0	1.00					
1.2 心理性・快適性		2.6	0.30					
1 広さ感・景観	天井高を3.95mとした。	5.0	0.33					
2 リフレッシュスペース		2.0	0.33					
3 内装計画		1.0	0.33					
1.3 維持管理		4.5	0.30					
1 維持管理に配慮した設計	外装材は、通常の管理が不要な材料とした。	5.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保	ゴミ置き場を確保し、搬出が容易な位置とした。	4.0	0.50					
3 維持管理業務		3.0	-					
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>2.7</b>	0.30					<b>2.7</b>
2.1 耐震・免震		3.0	0.50					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		2.9	0.30					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		4.0	0.10					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20					

<b>2.4 信頼性</b>			<b>1.8</b>	0.20			
1	空調・換気設備		1.0	0.20			
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20			
3	電気設備		1.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5	通信・情報設備		1.0	0.20			
<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.3</b>	0.30			<b>3.3</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>4.0</b>	0.30			
1	階高のゆとり		-	-			
2	空間の形状・自由さ	壁比率0.13	4.0	1.00			
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.30			
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.2</b>	0.40			
1	空調配管の更新性		3.0	0.20			
2	給排水管の更新性	構造躯体を痛めることなく、更新可能としている。	4.0	0.20			
3	電気配線の更新性		3.0	0.10			
4	通信配線の更新性		3.0	0.10			
5	設備機器の更新性		3.0	0.20			
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20			
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.30			<b>2.2</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>1.0</b>	0.30			<b>1.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.40			<b>3.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>2.5</b>	0.30			<b>2.5</b>
<b>3.1 地域性への配慮、快適性の向上</b>			<b>2.0</b>	0.50			
<b>3.2 敷地内温熱環境の向上</b>			<b>3.0</b>	0.50			
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-			<b>3.3</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40			<b>3.3</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>			<b>2.0</b>	0.20			<b>2.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>			<b>3.0</b>	0.10			<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>		BEIm 非住宅 0.72 住宅(専有部) 0.83	<b>4.0</b>	0.50			<b>4.0</b>
集合住宅以外の評価(3a.3b)			4.0	1.00			
集合住宅の評価(3c)			-	-			
<b>4 効率的運用</b>			<b>3.0</b>	0.20			<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価			<b>3.0</b>	1.00			
4.1 モニタリング			3.0	0.50			
4.2 運用管理体制			3.0	0.50			
集合住宅の評価			-	-			
4.1 モニタリング			-	-			
4.2 運用管理体制			-	-			
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30			<b>3.4</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.4</b>	0.20			<b>3.4</b>
<b>1.1 節水</b>		節水型の衛生器具を採用した。	<b>4.0</b>	0.40			
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>			<b>3.0</b>	0.60			
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70			
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30			
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>3.4</b>	0.60			<b>3.4</b>
<b>2.1 材料使用量の削減</b>			2.0	0.14			
<b>2.2 既存建築躯体等の継続使用</b>			-	-			
<b>2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用</b>		-	3.0	0.29			
<b>2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</b>		ビニル系床材:事務所等床、塩ビ管:雨水排水管	4.0	0.29			
<b>2.5 持続可能な森林から産出された木材</b>			-	-			
<b>2.6 部材の再利用可能性向上への取組み</b>			4.0	0.29			
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.6</b>	0.20			<b>3.6</b>
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>			<b>4.0</b>	0.30			
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>			<b>3.5</b>	0.70			
1 消火剤			-	-			
2 発泡剤(断熱材等)			5.0	0.50			
3 冷媒			2.0	0.50			
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30			<b>3.2</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>			<b>4.0</b>	0.33			<b>4.0</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>2.5</b>	0.33			<b>2.5</b>
<b>2.1 大気汚染防止</b>			<b>3.0</b>	0.25			
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>			<b>2.0</b>	0.50			
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>			<b>3.3</b>	0.25			
1 雨水排水負荷低減			-	-			
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.33			
3 交通負荷抑制		自転車置場は建物入口付近の利用しやすい位置とした。	5.0	0.33			
4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.33			
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.1</b>	0.33			<b>3.1</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>3.0</b>	0.40			
1 騒音			3.0	1.00			
2 振動			-	-			
3 悪臭			-	-			
<b>3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.40			
1 風害の抑制			3.0	1.00			
2 砂塵の抑制			-	-			
3 日照阻害の抑制			-	-			
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>3.7</b>	0.20			
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			4.0	0.70			
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30			